

平成 31 年度（令和元年度）

# 全国学力・学習状況調査の分析と考察

（令和元年 11 月）



松 本 市 教 育 委 員 会  
松本市校長会学力調査検討委員会

平成 31 年度（令和元年度）

## 全国学力・学習状況調査の松本市における結果〔概要〕

### 調査概要

- ◇調査対象：小学校第 6 学年、中学校第 3 学年
- ◇調査実施日：平成 31 年 4 月 18 日（木曜日）
- ◇調査内容：① 教科に関する調査〔国語、算数・数学、英語（中学校）〕  
② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（児童質問紙、生徒質問紙）
- ◇今年度調査の特徴：・教科に関する調査について、知識と活用を一体的に問う調査問題  
・中学校の教科に関する調査に、新たに英語を導入  
（「話すこと」調査の結果は、参考値としての取扱い）

### 教科に関する調査結果概要

- ◇平均正答率：すべての教科において、全国（公立）の平均正答率とほぼ同程度。
- ◇領域別状況：学習指導要領の領域等の平均正答率の状況は、すべての教科で全国とほぼ同程度。小学校国語「読むこと」、小学校算数「図形」、中学校国語「書くこと」、中学校数学「図形」、中学校英語「聞くこと」では、正答率が比較的高い傾向にある一方で、中学校英語「書くこと」の正答率はやや低い傾向。
- ◇正答数分布：小学校国語、中学校数学において、全問題数のうち 8 割を超える正答があった児童生徒の割合が全国と比べてやや高い状況。
- ◇問題形式：問題の形式は、選択式、短答式、記述式の 3 種類。記述式では、複数の考え方や答え方があるものなどについて説明する問題が出題。小学校国語、中学校数学では、正答率が全国を大きく上回る問題も見られた一方で、中学校英語における正答率は、全体的に低い傾向。

- 各教科の「課題及び指導改善に向けて」では、特に課題と思われる問題を取り上げ、「課題が見られた問題について」「指導の改善・充実に向けて」の項目で、問題の趣旨や解答状況、誤答につながった要因、授業改善の具体的な方向を示しました。
- \* 表記については、長野県や全国の平均正答率、知識・活用にかかわる内容等も参考にしながら、平均正答率 7～8 割程度を目安に「定着している」、「身に付いている」、5～6 割以下を「課題がある」としました。
- 生活習慣等に関する質問紙調査については、全体的な傾向や主な特徴等をまとめました。全国との比較を示す数値については、その差を「ポイント」という表現を使っています。（例：全国が 30%、松本市 40% の場合、松本市は全国を「10 ポイント上回る」と表現しています。）
- 本調査は、国語、算数・数学、英語（中学校）の教科のみであるため、学習指導要領全体を網羅しているものではありません。また、本調査は、児童生徒が身に付けるべき学力の一部であることにご留意ください。

#### 問い合わせ先

【部課名】 松本市教育委員会 教育部 学校指導課

【連絡先】 電話：0263-33-4397 FAX：0263-34-3206

# 1 教科に関する調査結果

## 1(1) 小学校国語

＜今回の調査結果の主な特徴と具体的な設問＞

各設問に対する正答率と全国及び県平均正答率とを比べると、相当数の設問で全国及び県平均を上回っています。特に、目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかいたり、本や文章全体を概観して効果的に読んだりするなどの「読むこと」で顕著に表れています。

① 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことは、全国とほぼ同程度ではあるものの、課題がある。

### 大問 1 (三) 調べたことを報告する文章を書く (公衆電話)

11頁

＜課題及び指導改善に向けて 1 参照＞

書くこと

設問三 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことができるかどうかをみる問題

＜条件＞

- 「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)の両方から言葉や分を取り上げて書くこと
- 【報告する文章】にふさわしい表現で書くこと
- 書き出しの言葉に続けて、40字以上、70字以内にまとめて書くこと  
なお、書き出しの言葉は字数に含む

(正答例)

(なぜなら、)公しゅう電話は、主にけいたい電話を使うことができないときに必要とされていたり、きん急のときにも使うことができたりするからです。

三 高橋さんは、「3 調査の結果をもとに考えたこと」の「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書いています。  
□に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

② 同音異義語を文の中で正しく使うことについて、全国と比較するとやや上回っているものの、課題がある。

### 大問 1 (四) (1) 調べたことを報告する文章を書く (公衆電話)

12頁

＜課題及び指導改善に向けて 2 参照＞

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

設問四(1) 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題

【ひらがなを漢字でていねいに書く】

そこで、地いきの人 30 人を調査の アたいしょうとして、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとんどの人が必要だと回答しました。

今回の調査を通して知ったことを、学級の友達に イかぎらず多くの友達に伝え、公衆電話について ウかんしんをもってもらいたいと思います。

(正答) ア. 対象 イ. 限(らず) ウ. 関心

③ 文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くことについて、全国と比較するとやや上回っているものの、課題がある。

### 大問 1 (四) (2) 調べたことを報告する文章を書く (公衆電話)

12頁

＜課題及び指導改善に向けて 3 参照＞

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

設問四(2) 文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くことができるかどうかをみる問題

高橋さんは、読み手に伝わりやすくするために、【報告する文章】の [ ] の文を二つの文に分けて書き直すことにしました。文と文をつなぐ言葉には「そこで」を使います。書き直した一文目の終わりの五文字と、二文字目の「そこで、」に続く五文字を書きましょう。なお、読点も字数にふくみます。

公衆電話を必要とときに使うことができるようにするためには、どのような場所に設置されているのかを前もって知っておくことが大切だと思ったので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめてみることにしました。

[ ] 。そこで、 [ ]

(正答) 思いました。(そこで、)わたしは、

## 1 (2) 中学校国語

<今回の調査結果の主な特徴と具体的な設問>

昨年度と同様に、大半の設問において、無解答率は全国平均や県平均と比べて低くなっています。大問1(三)や大問3(二)の「自分の感じたことや考えたこと」、また「自分ならどのような文章を書き加えるか」のような「活用」に関する設問では、正答の中にも個人の多様性が見られ、誤答の中にもあと一步というものが多くあったことが特徴的でした。

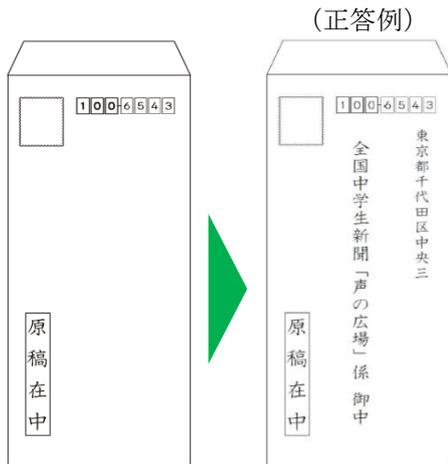
① 封筒の書き方を理解し、文字の大きさや配列などに注意して書くことに課題がある。

大問1(四) 情報を読む(新聞) <課題及び指導改善に向けて1 参照>

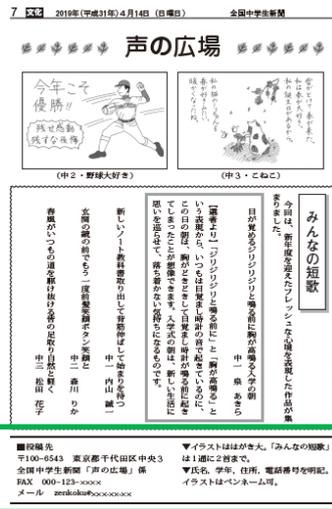
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

設問四 封筒の書き方を理解して宛名を書く問題

13頁



【全国中学生新聞】を読み、「声の広場」へ投稿するという場面設定のもと、紙面の投稿先の情報から封筒へ宛名を記入。



【全国中学生新聞】左ページ

② 相手に分かりやすく伝わる表現について理解することは、全国平均とほぼ同程度で、おおむね定着しているものの、更に力を伸ばしたい内容事項である。

大問2(二) 話し合いをする(文化祭) <課題及び指導改善に向けて2 参照>

話すこと 聞くこと

設問二 話し合いでの発言について説明したものととして適切なものを選択する問題

14頁

(正答)

- ① 場面③における西野さんの発言の一部を具体的に言い換えて確認しながら、自分の考えを示している。
- 2 場面③における西野さんの発言の一部を取り上げ、様々な考えを出し合うように周囲に促している。
- 3 場面③における西野さんの発言の要旨をまとめながら、話し合いを通して導かれた結論を述べている。
- 4 場面③における西野さんの発言と他の人の発言との相違点を示し、議論の要点を確認している。

山下さんも気になっていたんですね。それに、例年、展示や発表の場所が校内に点在しているので、見て回る経路の例を示した紙を配るとよいと思います。



ちょっと待ってください。具体的な経路のことについては倉田さんの言うとおりだと思いますが、今回出されたことの中で、まだ、どうするか決まっていなことがります。

③ グラフから読み取れる情報を適切に文章化し、かつ、相手の立場を理解した上で分かりやすく伝えることができている。

大問3(二) 意見文を書く(地域の店)

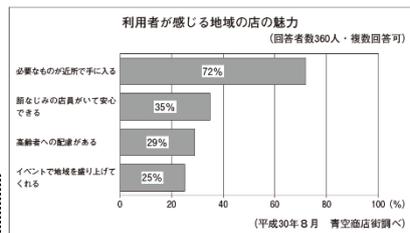
書くこと

設問二 広報誌の一部にある情報(アンケート結果)を用いて、意見文に地域の店の「魅力」の具体例を書き加える問題

また、昨年八月に青空商店街が行ったアンケート「利用者が感じる地域の店の魅力」の結果からも分かることがある。例えば、

(正答例)

約三分割の人が「高齢者への配慮がある」と感じており、超高齢社会を支える大切な役割が地域の店にあるのだと思う。



・情報を適切に用いて正確に書いている。 ・取り上げた情報を基に自分の考えを加えて書いている。

### 1 (3) 小学校算数

＜今回の調査結果の主な特徴と具体的な設問＞

すべての設問において、全国正答率と比べて大きな差異は見られず、ほぼ同程度でした。1 (3)の「示された図形の面積の求め方」や、3 (2)の「示された計算の仕方」の問題のように、図を基に式に表したり、図と関連付けて式を解釈したり、計算から成り立つ性質を見いだしたりする活動を、様々な学年を通して、系統的に学習していくことが大切です。

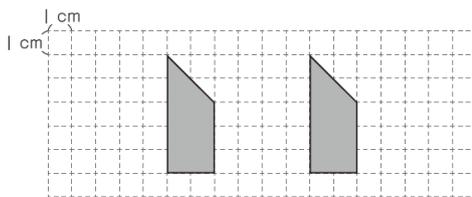
① 図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することについては、全国と比較してやや下回り、課題がある。

#### 大問 1 (2) 図形の構成と筋道を立てた考察 (台形) <課題及び指導改善に向けて 1 参照>

15頁

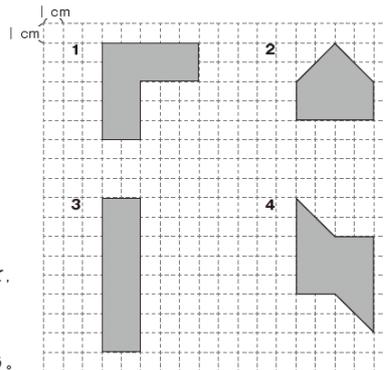
図形

(2) ちひろさんは、次のように、2つの合同な台形をつくりました。



上の2つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせ、いろいろな形をつくります。どのような形をつくりことができますか。

下の 1 から 4 までの中からすべて選んで、その番号を書きましょう。



(正答)

1、3、4

② 水の使用量を示した棒グラフから、指定された年の使用量が比較する年の使用量の何倍かを読み取ることについては、おおむね定着しているものの全国と比較するとやや下回り、課題がある。

#### 大問 2 (2) 資料の特徴や傾向を読み取り判断すること (水の使用量)

<課題及び指導改善に向けて 2 参照>

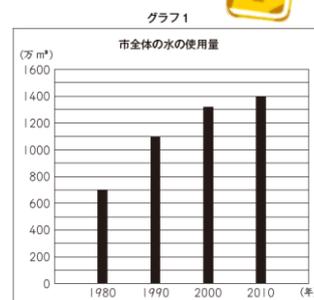
16頁

数と計算

数量関係

かいとさんたちは、水を大切に使用しているのかどうかを知りたいと思い、まず、自分たちの住んでいる市では、水をどのくらい使っているのかを調べています。かいとさんは、グラフ1を見つめました。

(2) グラフ1の、2010年の市全体の水の使用量は、1980年の市全体の水の使用量の約何倍ですか。答えを書きましょう。



(正答)

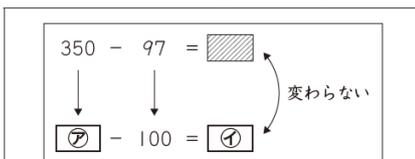
2 (倍)

③ 示された計算に関して成り立つ性質を基に計算の仕方を解釈し適用したり、計算しやすい式にして計算したりすることについては、よく身に付いている。

#### 大問 3 (1)・(3) 計算の仕方の解釈と発展的な考察 (計算の工夫)

数と計算

(1) 【ともやさんの計算の仕方】をもとに、 $350 - 97$  について、計算しやすいようにひく数の97を100にした式で考えます。



だから、 $350 - 97$  の答えの [ ] は、 [ ] です。

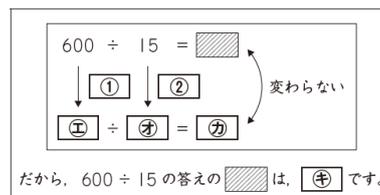
上の [ ]、[ ]、[ ] に入る数を書きましょう。

(正答)

ア 353    イ 253    ウ 253

① (例)  $\times 2$     ② (例)  $\times 2$     エ (例) 1200    オ (例) 30    カ 40    キ 40

(3) 【ことねさんの計算の仕方】をもとに、 $600 \div 15$  について考えます。



だから、 $600 \div 15$  の答えの [ ] は、 [ ] です。

上の [ ] にはあてはまるものを、下の [ ] の中から1つ選び、また、上の [ ] にはあてはまるものを、下の [ ] の中から1つ選んで、それぞれ書きましょう。

ただし、それぞれ、どれを選んでもかまいません。

①  $\times 2, \div 3, \div 5$     ②  $\times 2, \div 3, \div 5$

さらに、上の [ ]、[ ]、[ ]、[ ] に入る数を書きましょう。

# 1 (4) 中学校数学

＜今回の調査結果の主な特徴と具体的な設問＞

昨年度の課題であった説明することや記述で答える問いも含めて、ほぼすべての設問について正答率は全国と比較して上回っており、指導の成果が見られます。昨年度、課題として取り上げた「回転移動の問題」「確率の意味を問う問題」は、本年度、同類の問題が出題されませんでした。今後も継続的に指導していきたい課題です。

① 簡単な連立二元一次方程式を解くことについて、全国と比較してほぼ同程度の正答率で、おおむね定着しているものの、よりの確に解くことに課題がある。

## 大問2 連立二元一次方程式 <課題及び指導改善に向けて3 参照>

18頁

### 数と式

連立方程式  $\begin{cases} y = -2x + 1 \\ y = x - 5 \end{cases}$  を解きなさい。 (正答)  $(x =) 2, (y =) -3$

② 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することについて、全国と比較して上回っているものの、課題がある。

## 大問6 事象の数学的な解釈と問題解決の方法 (冷蔵庫) <課題及び指導改善に向けて1 参照>

### 関数

17頁

(2) 冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する問題

健太さんが作った表

	冷蔵庫A	冷蔵庫B	冷蔵庫C
容量	400 L	500 L	500 L
本体価格	80000 円	100000 円	150000 円
1年間あたりの電気代	15000 円	11000 円	6500 円

(2) 健太さんの家では、7ページの健太さんが作った表で、容量が500 Lである冷蔵庫Bと冷蔵庫Cのどちらかを購入することになりました。そこで、健太さんとお姉さんは、冷蔵庫を購入してx年間使用するときの総費用をy円として、冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用を比べてみることにしました。

健太さん「本体価格は冷蔵庫Cの方が高いので、最初のうちは冷蔵庫Bより冷蔵庫Cの方が総費用が多いね。」  
お姉さん「1年間あたりの電気代は冷蔵庫Cの方が安いので、使い続けると冷蔵庫Bより冷蔵庫Cの方が総費用が少なくなるね。」  
健太さん「それなら、2つの冷蔵庫の総費用が等しくなるときがあるね。」

冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用が等しくなるおよその使用年数を考えます。下のア、イのどちらかを選び、それを用いて冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明しなさい。ア、イのどちらを選んで説明してもかまいません。

ア それぞれの冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表す式

イ それぞれの冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表すグラフ

(正答例)

- ・アを選択し、方程式を用いて、使用年数の値を求めることについて書いている
- ・イを選択し、グラフの交点の座標から、使用年数の値を読み取ることに書いている

③ 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することについて、全国と比較してやや上回っているものの、課題がある。

## 大問8 分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること (図書だより)

17頁

<課題及び指導改善に向けて2 参照>

### 資料の活用

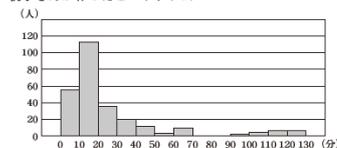
(2) 「1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多い」という考えが適切ではない理由を、ヒストグラムの特徴を基に説明する問題

(2) 二人は、実施したアンケートをもとに、1日あたりの読書時間について、次のような表とヒストグラムにまとめました。桃子さんが作ったヒストグラムでは、例えば、1日あたりの読書時間が30分以上40分未満だった生徒が20人いたことを表しています。

航平さんが作った表

	平均値	最大値	最小値
1日あたりの読書時間(分)	26.0	120	0

桃子さんが作ったヒストグラム



二人は、上の航平さんが作った表と桃子さんが作ったヒストグラムについて話し合っています。

航平さん「1日あたりの読書時間の平均値が26.0分だから、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いといえそうだね。」  
桃子さん「でも、ヒストグラムを見ると26分ぐらいの生徒が多いとはいえないのではないかな。」

桃子さんが作ったヒストグラムを見ると、航平さんのように「1日あたりの読書時間の平均値が26.0分だから、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いといえそうだ」という考えは適切でないことがわかります。その理由を、桃子さんが作ったヒストグラムの特徴をもとに説明しなさい。

(正答例)

- ・1日あたりの読書時間である26分が、山の頂上の位置にないことから、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いというのは適切ではないと書いている
- ・1日あたりの読書時間である26分が含まれる階級は、度数が最大となる階級ではないことから、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いというのは適切ではないと書いている

## 1 (5) 中学校英語

<今回の調査結果の主な特徴と具体的な設問>

全体の正答率は、全国平均と比べてほぼ同程度でした。発信的な技能として、問われていることが分かれば、自分の考えなどをなんとか伝えようとする粘り強さや意欲が見られます。一方で、聞いたり読んだりして把握した内容について、話し手や書き手の意図を捉えることに課題があり、無解答率も高い状況にあります。

① まとまりのある内容を聞き、話の概要や必要な情報を捉えることについて、全国的に正答率が高く、よく身に付いている。

### 大問3 聞き手として必要な情報を聞き取る

聞くこと

アメリカでホームステイ中のあなたは、天気予報を聞きながらピクニックに行く計画を立てています。ピクニックに行くのに最も適しているのは、何曜日でしょうか。下の1から4までのの中から1つ選びなさい。

(スクリプト)

- 1 Thursday
- 2 Friday
- ③ Saturday
- 4 Sunday

Good morning. It's Thursday, April eleventh. Here's the weather. It was nice and warm yesterday, but not today. It will be cloudy and cold in the morning, and sometimes rainy in the afternoon. Tomorrow will be sunny but much colder. The weather will be nice on Saturday, so it will be a good day to go outside and enjoy the sun. On Sunday, it will be rainy again.

② 社会的な話題について、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などを主体的に捉えることについて、全国的に正答率が低く、課題がある。

### 大問8 読んだ内容について適切に応じる <課題及び指導改善に向けて1 参照>

読むこと

19頁

英語の授業で、次のような資料が配られました。これを読んで、文中の問いかけに対するあなたの考えを英語で簡潔に書きなさい。

(正答の条件) 食料を無駄にすることをやめるために自分ができることについて、十分理解できる英語で解答しているもの

(正答例)

- We should not buy too much food.
- If I can't eat everything, I can share it with others.

There are a lot of hungry people in the world. The World Food Programme gives food to about 90,000,000 people in 83 countries. Japan is a member of this project. However, here in Japan, people waste more than 6,000,000t of food every year. It means that one person wastes two rice balls every day. We waste food not only at home, but also at restaurants, convenience stores, supermarkets, schools, and some other places. That is really *mottainai!* We have to stop wasting food now. What can we do about this problem?

③ 表現の能力が問われる問題について、無解答率が低いことから書こうとする意欲は見られるものの、与えられたテーマについて考えを整理し、コミュニケーションに支障をきたすことなく(主語や動詞等の主要語の欠落、文構造の誤り等)、内容を伝えることに課題がある。

### 大問10 まとまりのある文章を書く <課題及び指導改善に向けて2 参照>

書くこと

20頁

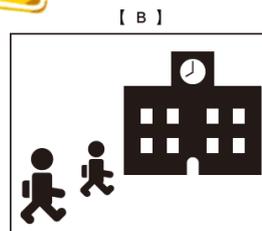
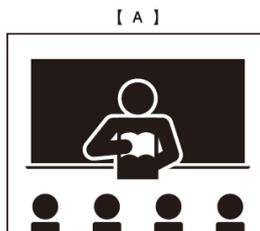
海外のある町が、外国人旅行者にも分かりやすいタウン・ガイドを作成するために、「学校」を表す2つのピクトグラム(案内用図記号)のうち、どちらがよいかウェブサイトで意見を募集しています。どちらかの案を選び、2つの案について触れながら、あなたの考えを理由とともに25語以上の英語で書きなさい。

(正答の条件) 次の条件を満たして解答しているもの

- ① どちらの案がよいか、1つ選んで意見を書いている
- ② 選んだ理由等について、2つの案に触れながら書いている
- ③ 25語以上の英語で書いている

(正答例)

- I think A is better. It shows a teacher and students in a classroom, so it looks like a school. I don't think B is good because it looks like a library.



※ 短縮形(I'mやdon'tなど)は1語と数え、符号(、や?など)は語数に含めません。

(例) No. \_\_\_\_\_ I'm \_\_\_\_\_ not. \_\_\_\_\_ 【3語】

## 2 児童・生徒質問紙調査結果

### 2(1) 国語、算数・数学について

#### 【国語と算数・数学に関する児童生徒の興味関心】

- ・ 小学校国語及び算数に関わる児童の興味関心（～の勉強が好き、～の勉強は大切だと思う、～の授業の内容はよく分かる、～の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ）に対して、肯定的（肯定＋準肯定）な回答をした児童の割合は増加傾向にある。
- ・ 中学校国語及び数学に関わる生徒の興味関心（～の勉強が好き、～の勉強は大切だと思う、～の授業の内容はよく分かる、～の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ）に対して、肯定的な回答をした生徒の割合は、小学校第6学年の結果と比較するとやや少ないものの、経年変化で見ると増加傾向にある。
- ・ 特に、算数・数学では、四つのすべての質問において、「当てはまる」と最も肯定的な回答をした児童生徒の割合が、昨年度から増加した。

#### 【凡例】

上段▶ [小学校質問紙調査にかかわる回答集計]  
回答率(0%.....100%)

下段▶ [中学校質問紙調査にかかわる回答集計]

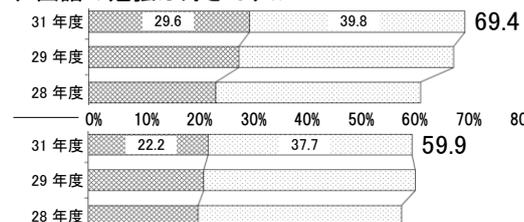
選択肢

■ 当てはまる

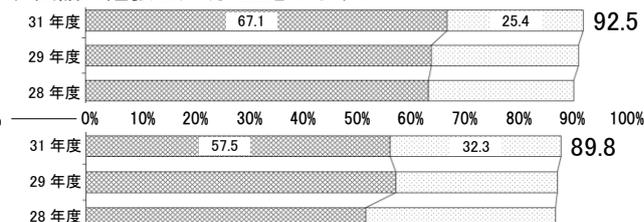
■ どちらかといえば、当てはまる

※平成30年度は、国語の項目は調査していない

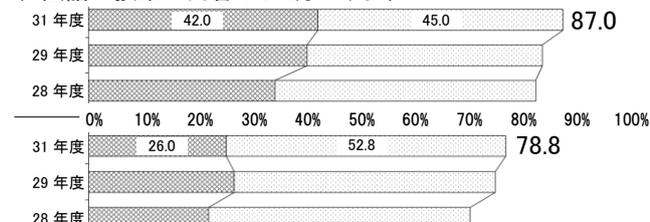
#### ◇ 国語の勉強は好きですか



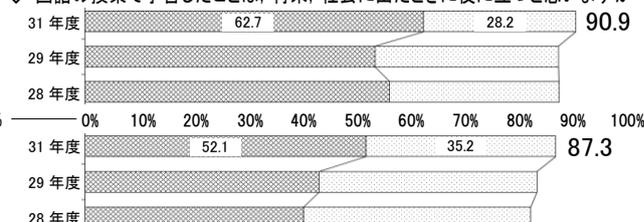
#### ◇ 国語の勉強は大切だと思いますか



#### ◇ 国語の授業の内容はよく分かりますか



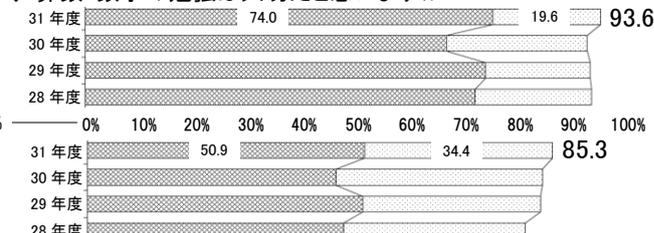
#### ◇ 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



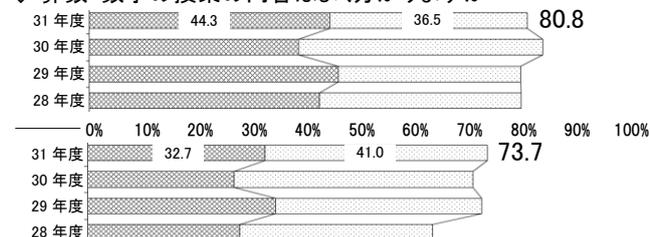
#### ◇ 算数・数学の勉強は好きですか



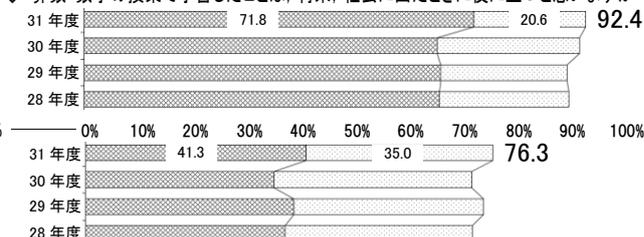
#### ◇ 算数・数学の勉強は大切だと思いますか



#### ◇ 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか



#### ◇ 算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

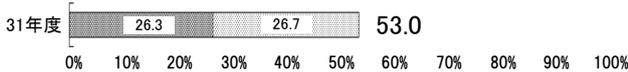


## 2(2) 中学校英語について

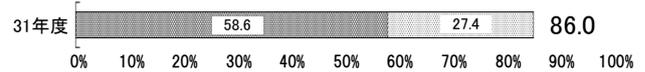
### 【英語に関する生徒の興味関心】

- 「英語の勉強は好きですか」との質問に肯定的に回答した生徒の割合は、5割を超えており、国語や数学と比べて大きな差は見られない。「英語の勉強は大切だと思いますか」との質問に肯定的に回答した生徒の割合は、8割を大きく超えており、国語や数学と比べてほぼ同程度である。
- 「英語の授業はよく分かりますか」との質問に肯定的な回答をした生徒の割合は6割を超えているものの、国語や数学と比べてやや少ない。

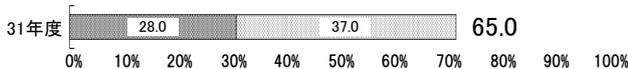
#### ◇ 英語の勉強は好きですか



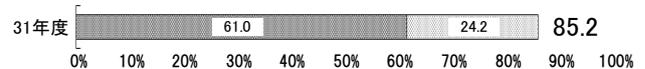
#### ◇ 英語の勉強は大切だと思いますか



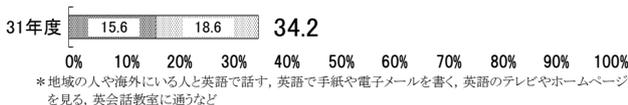
#### ◇ 英語の授業はよく分かりますか



#### ◇ 英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



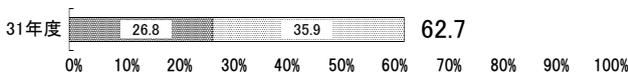
#### ◇ あなたはこれまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会\*が十分にありましたか



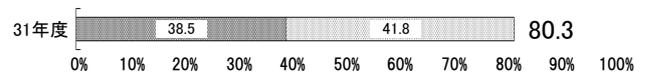
#### ◇ あなたは将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか



#### ◇ 1,2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか



#### ◇ 1,2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか



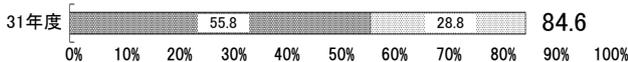
※英語の項目は中学校のみ

## 2(3) ICTを活用した学習状況

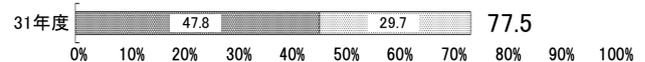
- 「授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思いますか」との質問に肯定的に回答した児童生徒の割合は、児童が8割を超え、生徒が8割程度である。

#### ◇ 授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思いますか

##### 【小学校】



##### 【中学校】

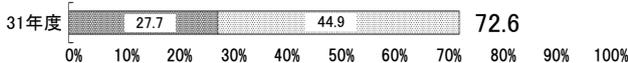


## 2(4) 特別活動・道徳における状況

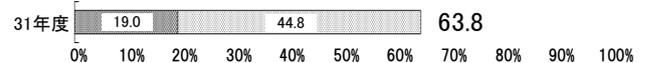
- 「道徳の授業で、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか」との質問に肯定的に回答した児童生徒の割合は、経年変化から小・中学校ともに増加傾向にある。

#### ◇ 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか

##### 【小学校】



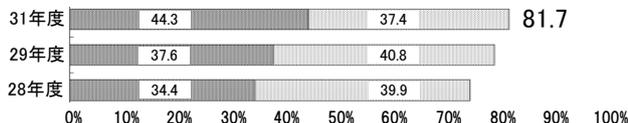
##### 【中学校】



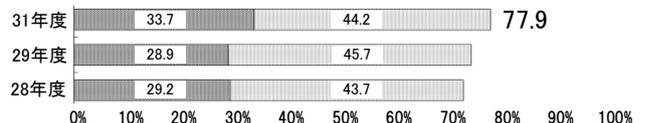
#### ◇ 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか

※平成30年度は、道徳の項目は調査していない

##### 【小学校】



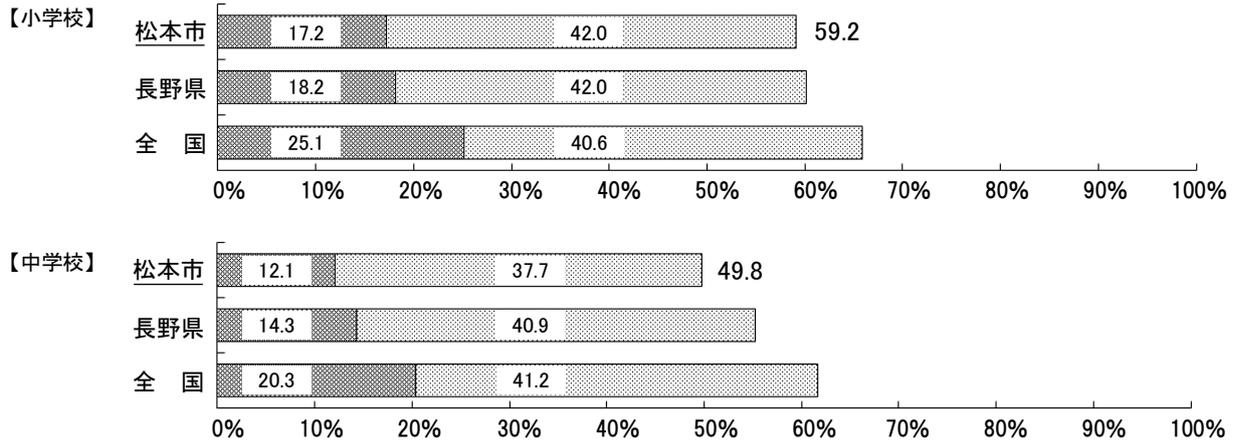
##### 【中学校】



## 2(5) 総合的な学習の時間における状況

- 平成 31 年度、「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか」との質問に肯定的に回答した児童の割合は 6 割程度、生徒の割合は 5 割程度であり、全国、長野県と比べて少ない。特に、「取り組んでいる」と肯定した児童生徒の割合は、全国と比べて 8 ポイント程度開きがある。

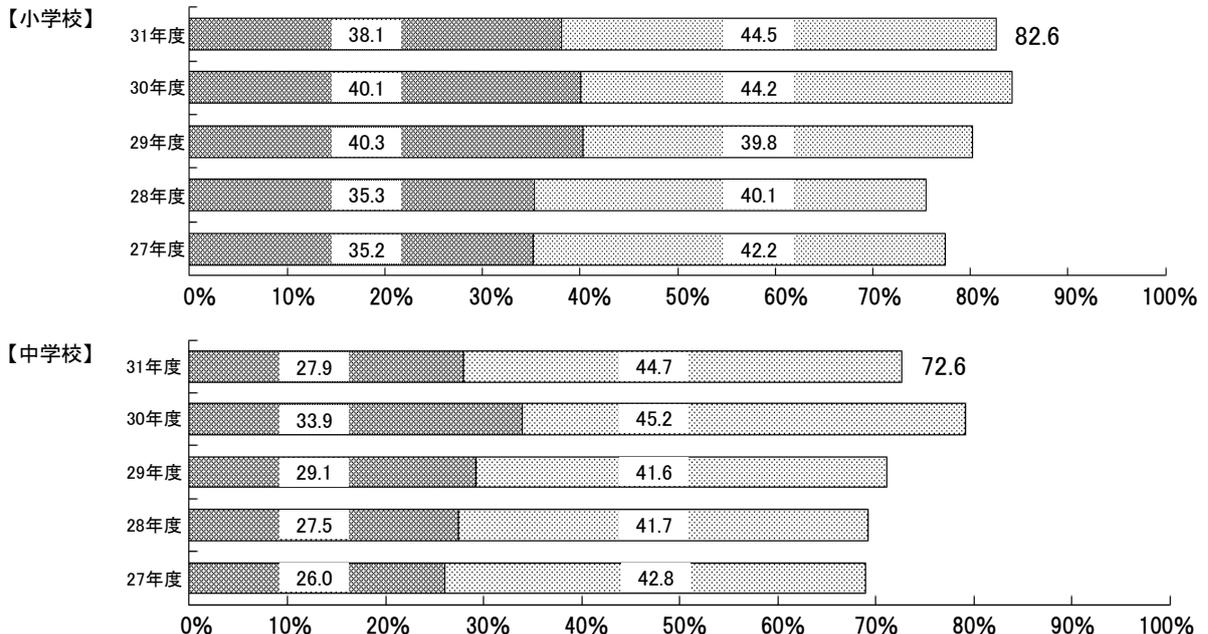
◇ 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか



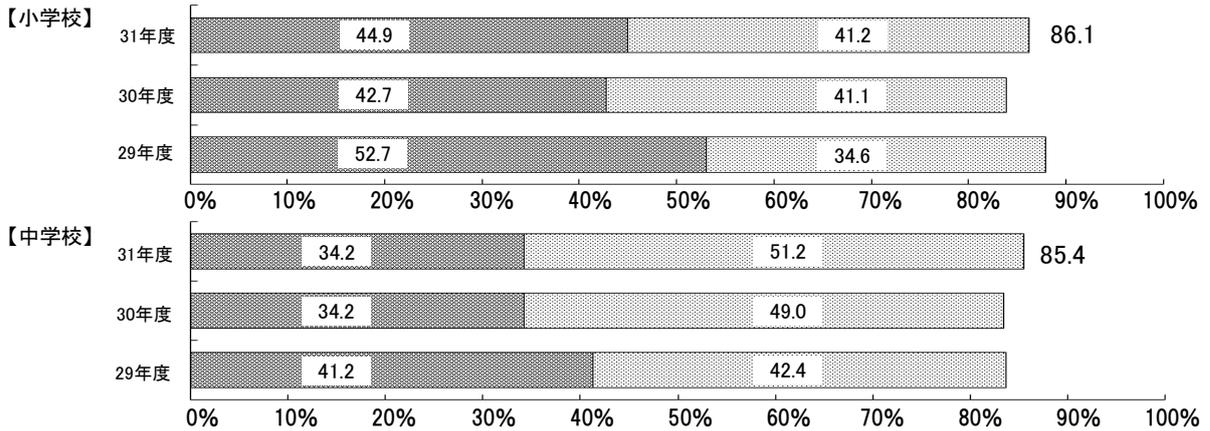
## 2(6) 自己肯定感に関する状況

- 「自分がよいところがあると思うか」との質問に肯定的に回答した児童の割合は昨年度からやや少なくなったものの 8 割を超え、生徒の割合も 7 割を超えている。
- 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」との質問に肯定的に回答した児童の割合は 9 割、生徒は 8 割を超え、経年変化から増加傾向にあり、学習指導において、児童生徒は教師に対して一定の満足感を得ていると推察される。

◇ 自分には、よいところがあると思いますか

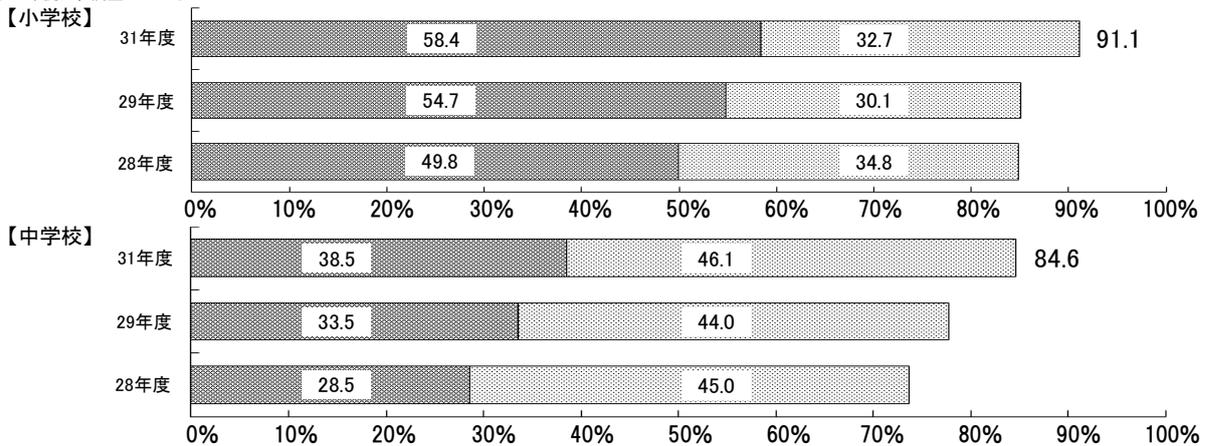


◇ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



◇ 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか

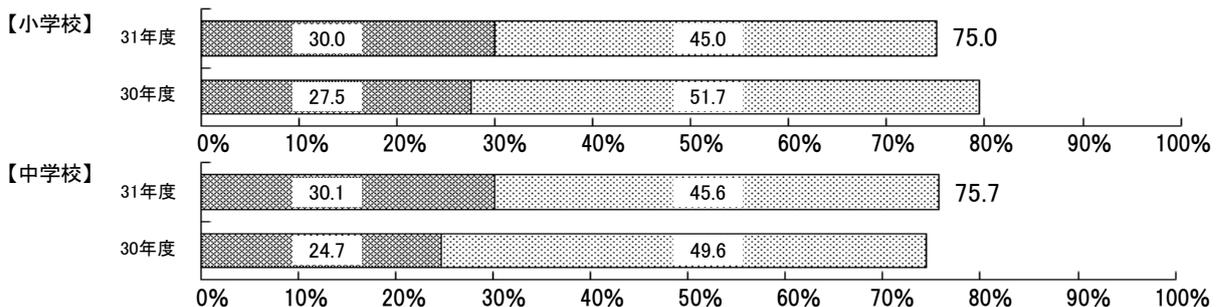
※平成30年度は、調査していない



## 2(7) 主体的・対話的で深い学びの視点から

・「主体的・対話的で深い学び」にかかわる質問に肯定的に回答した児童生徒の割合は、昨年度と比べてやや減少傾向が見られるものの、どの質問も7割を超えている。

◇ (小学5年生・中学1・2年生)までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか



◇ 学級の友達と[生徒]の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか

